

“利賀ダム建設促進期成同盟会”による 現地視察が行われました！

令和3年11月26日(金)、利賀の山々が薄らと雪化粧に変わりゆく中、「利賀ダム建設促進期成同盟会」の綿貫民輔会長、役員の砺波市長・南砺市長・小矢部市長・高岡市長(代理:副市長)・射水市長(代理:副市長)及び富山県土木部次長による現地視察が行われました。

はじめに、南砺市の利賀市民センター1階に開設した「利賀ダムDXルーム」にて、事業の進捗状況を確認し、河床進入トンネルの貫通式(11月4日)やCIMを用いた完成モデルの映像を視聴されました。



綿貫会長及び役員の皆様、利賀ダムの完成モデルや貫通式の映像を見ていただきました。
利賀DXルームは、平日8:30～17:15の間、見学が可能です。



その後、ダムサイト予定地へ移動し、工事現場の視察が行われました。
 「11月4日に河床進入トンネルが河床まで貫通したことにより、転流工やダム本体の工事着手が可能になった。」と説明を行ったところ、参加者の皆様より「早期のダム完成を願っている。」とお言葉をいただきました。



サユリン



トムはかせ

ダムサイト予定地にて、現場の状況を確認

